

令和7年度 第1回徳島市立図書館協議会 会議録要旨

- 1 日 時 令和7年10月2日(木) 10:00～12:00
- 2 場 所 徳島市役所 本館13階 大会議室
- 3 出席者 委員 委員長 三木 鈴江(家庭文庫代表)
副委員長 和田 初枝(四国大学日本文学科准教授)
委員 小川 恵子(川内北幼稚園長)
米田 直紀(沖洲小学校長)
遠藤 明子(入田中学校長)
松永 勉(市文化協会会長)
板東 恵子(市社会教育委員長／市婦人連絡協議会会長)
岸本 和代(市議会文教厚生委員会委員長)
竹内 紘子(日本児童文学者協会徳島支部長)
大川 良文(市生涯学習推進連絡協議会会長)
住村 早紀(徳島市・名東郡PTA連合会会長)
福島 吉美(徳島市少年を守る母の会会長)
大高 章(徳島大学附属図書館長)
露口 悦之(県立図書館長)
- 事務局 市教委(社会教育課) 岡田課長、北村課長補佐、平山係長、吉岡主査、島本主事
図書館(指定管理者) 廣澤館長、菊本副館長、清水副館長、渡部副館長
川井部署責任者、中四国支社営業部山本
多田エリアマネージャー

4 議 題

(1) 管理運営体制について

館長より説明。

《質疑応答》

なし

(2) 令和6年度の事業報告について

館長より説明。

《質疑応答①》

委員 利用者数増について伸び悩んでいるということだが、アミコビルの認知が進んでいないことも原因だと思う。その点はどのように分析されているのか。
また、徳島新聞の記事で徳島県立図書館の予約待ちが多いという記事を拝見したが、徳島県立図書館と同じ状態が起こり、徳島市立図書館の予約件数が増えているのか、お聞きしたい。

以前、社会教育委員会でも話したが、はこらいふ図書館が徳島市立図書館だと知らない方がまだまだ多くいる。

事務局 アミコビル全体の入館者数については把握していないが、以前と比べると当館に流れてくる人の様子は緩やかな印象である。ただ、同じビルに入っている繋がりや、他店と協力できることがあると思っている。今年の9月には、紀伊國屋書店と情報交換をしながら、有名な作家を招いた講演会も行った。その他、シビックセンターや子育て安心ステーション、内町コミュニティーセンターとも協力体制を整えている。予約件数については、細やかなサービスにより件数が増えている状態である。また、ネーミングライツに関しては、徳島市立図書館とわかるように表記して広報や電話対応をしており、認知に努めている。

《質疑応答②》

委員 保護者の立場から、図書館の運営方針1に該当する取り組みとして、PTAで行ったことを報告したい。まず、小学校の図書室を活性化させるために、図書室の傷んだ本を修理する機会をつくり、夏休みに保護者の方たちと協力し、図書室改革を行った。次に、徳島市立図書館から本を借りて設置した。また、古本を購入するなどし、新しい本を図書室に入れるようにした。結果として、図書室はきれいになり、図書館担当の先生も少しずつ滞在する時間を増やしてくれている。これからも、学校と図書館が情報発信をしていき、より良くなるようにできればと思う。

事務局 当館が学校図書館と連携してできることとして、一つ目は団体貸出がある。二つ目に当館のリサイクル本の利用である。リサイクル本の中には大型絵本などもあるため、活用していただけたらと思う。三つ目として、当館の見学や当館が作成したブックリストなども参考にしてほしい。徳島市立図書館として、まずはそういったところから支援していきたい。また、徳島県教育委員会では、学校図書館サポーター養成講座も開催しているので、今後の活動の参考になればと思う。

《質疑応答③》

委員 入館者数や利用状況について報告があったが、学習室利用や映像視聴席の詳細な数値が知りたい。

事務局 お渡ししている資料は年間の統計であり、全て入館者数に含めて表記している。そのため、口頭で令和6年度のコーナー利用の数値を報告する。AVコーナーは2,916名、社会人席コーナーは11,525名、学生自習席は3,152名、インターネットコーナーは4,325名となっている。各種イベントの参加人数については、図書館概要に表記しているので参考にいただけたらと思う。

《質疑応答④》

- 委員 小学校での子どもたちの過ごし方をみると、図書室や図書館へ行くというのは優先順位が低い。そのため、授業の時間をとって図書室へ行くようにすると、子どもたちは本を探して読み込んでいる。こちらとしても、時間を作っていかなければいけないと思っている。また、昨年度の徳島市の学校図書館部会では、県立図書館に本の修繕の仕方を教えていただいた。知識や技術を身につけることができるのでありがたい。今年度は、図書館運営の仕方について知りたいという声がある。図書館が取り組んでいることを教えてもらい、お互いに働きかけていければと思う。
- 事務局 図書館でできることとして、貸出セットと称して、小学校で学習する授業内容に沿った「戦争」や「大豆」といったテーマで図書を40冊ずつ集めて、まとめて貸出できるよう準備している。しかし、広報が行き届いておらず、貸出に繋がっていないため、今後周知に努めたい。その他、当館のこども室では、夢のある空間、また居心地の良い空間にするため、設営等を非常に大事にしている。設営の工夫や環境整備について助言など力になれることがあると思うので、相談していただければと思う。

《質疑応答⑤》

- 委員 徳島市立図書館概要の45ページに、対面朗読サービスの実績が0回と記載されている。電子図書を借りて、音声で読み取ることは可能か。また、音声ができる図書を借りた利用者数を知りたい。
- 事務局 電子資料の中には音声によって読み上げ機能が付いている資料もある。しかし、音声付き資料を借りた利用者数については、すぐに回答できない。また、対面朗読サービスについては、コロナ禍以前は利用があったが、コロナ禍当時は、密室を避けるためサービスを見合わせていた。その後、利用がないため、今後広報を広げていきたいと思っている。

(3) 令和7年度の事業活動について

館長より説明。

《質疑応答》

なし

(4) その他

なし